日刊（1）（隔月曜）昭和21年6月1日 第三種郵便物認可　昭和24年2月23日 通産省特別紙承認第238号　いわき民報　夕刊 昭和29年4月13日（火曜日）第2422号

夕刊 いわき民報
発行所 平市田町48 電381 1222 いわき民報社
編集兼印刷発行人 田原登

銘菓 平餅 松月堂 平市銀座街 電二〇六

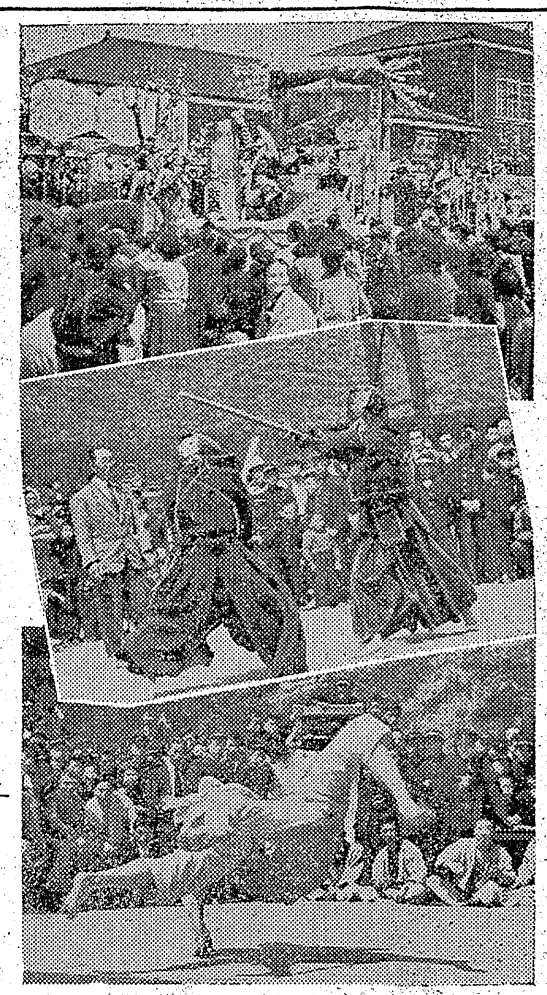
きのう人出五萬 一位に新川町

諸行事で大にぎわい

廣告カーニバル

平さくら祭行事はいよいよ佳境に入り、きのう十二日は爽快な天候に恵まれ日曜日とあつて市内は近在郊からの人出ザツト五万人で賑わつた松カ岡公園ではテレビの試験電像を行つたり、ローラースケート場の開場式を行つたほか市営コートでは剣道大会、武道大会が同時に行われ桜花乱舞の中で熱戦をくりひろげたが街頭風景を魅了した、一方市内では広告カーニバルが行われ商店会、個人商店など九つが参加、趣好を凝らした思い思いの仮装姿で市民の喝采をあびた広告カーニバルの入賞者は審査の結果次の通り決まつた

▼一等（一万円）新川町商店会（勧進帳安宅ノ関）▼二等（五千円）木槻小路（雛壇）一丁目（児島高徳ほか）▼三等（三千円）二丁目（美人発表会）みよし（じゃんがら念佛）



上 広告カーニバルの盛況 中 烈しばくの弾丸外人剣道大会（日本水槽対古河好間） 下 肉真に迫る柔道戦（磐高対平商）

常磐A組優勝

熱戦展開の剣道大会

たいら桜祭りを飾る磐城剣道選抜剣道大会は十一日午前十時から花見茗で賑う松カ岡公園でひらき団体二十八チーム、個人百三十名、少年剣士三十名が参加して熱戦をくりひろげたが結局団体の部では常磐炭鉱Aチーム、個人戦四、五段の部では錦田恵選手、同三段以下の部では近江谷清選手がそれぞれ優勝した、成績つぎの通り

▼団体の部
❶常磐炭鉱A❷平市神谷B❸日本水素B❹平市A❺日本水素A❻沢渡B▼個人戦四、五段の部❶錦田恵❷菅戸孝祐❸矢野目兵衛❹井上智❺島本啓二
▼同三段以下の部
❶近江谷清❷佐藤和❸菅原照男❹木村章之❺高橋功造

柔剣道大會も白熱戦

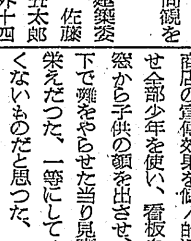
市連青主催

平市連青主催の柔剣道大会は十一日午前十時から春らんまんの松カ岡公園でひらきおよそ五十名の選手が参加して朝を競い花見がてらの見物人を熱狂させた、成績つぎの通り

▼柔道団体戦❶磐城高❷平工高❸平商高
▼同個人戦❶渡辺勝彦（磐高）❷吉野利光（磐高）
▼剣道団体戦
❶神谷Bチーム（志賀義雄、金成直正、志賀藤四郎）
▼同個人戦
❶江尻彦明（神谷）❷金成直正（神谷）❸久保田義男（東部）

鮫川堰の事務所落成

古川理事長今後の重要力説



「鮫川堰は明治三十一年に創設以来五十七年の長期に亘り水田及び工業用水に莫大な貢献上に大きな役割を果たして来た事は周知の通り組合の誇り得るものと信ずる、然しながら斯様に恩恵に乗るまでには凡ゆる障害を克服し今回の隊盛を見るにいたつた事は取りも直さず全組合員及び物故者の拠ゆまざる処の一致協力の賜である事を銘感せずにはおられないとの点満座鮫川堰土地改良区の新築事務所落成式は十一日午前十一時より植田小学校講堂で組合総代及び各町村有力者多数臨席の下に開かれ、高木事務理事開会の辞に続いて古川理事長は

感謝状を授与し来賓農林大臣代理駒木根小名浜農協組合長、渡辺植田町長、同鮫植田町会議長、地方事務所長代理の辞祝受賞代表者の謝辞があつて祝宴に移り一同親をつくし散会した

▼工事施行者　植田清、建築委員　大平正次、小野巽一、佐藤榧兵衛、高秋政明、佐藤五太郎村上重一、飯塚藤右衛門外十四名▼永年勤続者　小浜長太郎、鈴木幸章、渡辺大、永山定秀▼物故者　小林ゾウ次、箱崎伊勢松佐川徳太郎、飯塚栄一郎、高木三吉、小野豊平、大平定吉

町村代表と顔合せ

市で合併問題協議

先きに石城地方事務所の肝入りで結成をみていた平市の町村合併促進協議会では十二日午前十時から市公会堂に日本間に顔合せを兼ね合併促進に対する実態調査表（平市で作成）に基き今後研究の上合併を促進するよう出席町村代表者を呼びかけた

この協議会は平市始め合併対象の豊間、高久、草野、夏井の各町村から市町村長始め議長、助役など理事者、議会から代表五名がそれぞれ選任されているのでこの日、平市からは諸橋市長、伊藤助役、金古議長、佐藤総務部長ら出席、各町村代表者と第一回の顔合せを行い、過般各町村の庶務主任の集まりで検討、作成した合併資料を配布事情を説明、明十三日又は十四日に平市の振興委員会が合併の申入れを行うことに就いての協力方を要望、今後充分検討の上合併を促進するよう強調して正午閉会した

謡曲講習會

内郷で長期に

内郷町白水第二部落館では八日から二カ月にわたる長期謡曲講習会を毎日午後六時からひらいており近く参加者五十名が壽多流梅古会を結成するほどの熱中振りをみせている、講師には壽多流岩松利男氏（内郷町）が当つている

佐藤園長表彰記念祝賀會

十八日に開く

内郷町消防團主催の佐藤二等團長の全国表彰を祝う記念祝賀式を来る二十八日午前九時から内郷町浅野記念会館で開催する

内郷の住宅入居者決る

新築成つた内郷町公営住宅五棟に入居する選考会は十日役場で行われ次の五名が決定した

小野光義、増子健一、吉成政男池田時男、山野俊夫

庭球大會

十八日開く

県軟式庭球連盟主催、平庭球クラブ後援の石城地区軟庭大会は来る十八日午前九時から平市松カ岡市営コートにひらくことになり男子一般の部の試合が行われる、参加希望者は十六日まで平市田町大坪商店へ

俳句大會

あす内郷で

石城文学会では明十三日が石川啄木の命日に当るので十三日午後一時から内郷町白水会館に郷人の有名俳人約五十名が集り俳句大会をひらくことになつた、出席俳人のなかで鈴木朱鱗子（磐城市）田村秋陽子（内郷町）山下巫簑子（平市）らが混じられる

廣告カーニバル評

○―平商工祭協賛会で行つた十二日の広告カーニバルは参加が九つで少々さびしい感じだつた、審査員は草野商工会議所專務、関場市商工課長、服部平商高校長、佐々木商連会長

○―今度の広告カーニバルは商店会のカーニバルいわば團体の参加に対して点数をくれるカーニバルだつた、だからアカ抜けしていて宣傳効果や規模の点から実に優秀だつた「みよし」が二等におちたのは残念

○―世の中の景気が悪くなると勢い宣傳戦が激しくなる、宣傳費の占める経費は実際馬鹿にならぬもの、今年のカーニバルも景気不振の中に行うものだけに単なるさくらの祭の行事としてぞんざい宣傳主体に個人商店の参加も大いにすゝめればもつと多数の参加で賑わつたことだろうと思う

○―一等の物進帳安宅の関（新川町商店会）は誂いをマイクで放送した当り、さすが誂いの上手な町内だけに良い着想、だが柵はもつと丈夫なカブキ式にしてそこに町内商店の看板でも入れれば良かつた、二等の木槻小路のヒナダンこの着想は一番良かつたと思う、各商店の宣傳効果を個々的に集約させ全部少年を使い、看板自動車の窓から子供の顔を出させ、ダンの下で囃をやらせた当り見事な出来栄えだつた、一等にしてハズかしくないものだと思つた、一丁目商店会は坂本市議が児島高徳になり幟御前、桃太郎など衣装は念を入れたものの、これだけ盛華に飾つたにしては乗りものが狭かつた、トラックにすれば効果はもつと上つたと思う、二丁目の美人発表会もトラックにし段を設けて乗せたらハツキリ個々的に姿もみえて大喝采を呼んだろう、みよしのじゃんがら念佛は舞台装飾、音響効果、色彩などアカ抜けしていた、個人賞なら先ず一等だろう（O）

今夜の踊り

雨で中止か

十二日朝方から降つた大雨で農家では大よろこびだつたが、さくら祭り行事はこのためとんざ、芸妓の手踊りは中止、雨がやめば夕六時から予定通り行うがこの分では人出もないので出来そうもない、明十三日は芸妓の手踊りと浜通り民謡大会が行われる

天気予報

十二日【今晩】南東の風雨【明日】東よりの風はじめ雨、のち雨がふつたりやんだり、海上は今、明日とお昼透し悪いから漁船は注意を要す

岡カ見物

毎年のことながら花見どきの事故はなかなか多い酔払つて線路を歩き汽車に轢かれて尊い生命を落すもの、酒代稼ぎに泥棒をして捕まるもの、花見客を石をもつて物言わずに殴つたとか、喧嘩サタに至つては数限りない▼十日の夜松カ岡公園を一廻りしたところ四組の喧嘩を見た、面白かつたといつていた人があつた▼酒は適度に飲めば百薬の長になるがのみ過ぎて無我夢中になり人を傷つけ己も負傷したりする▼こんな醜態を演じて何が花見か、封建時代の野蛮な因習が原爆時代の今日においても少しも改善されていない、成人数奇も戦後だいぶやつたようだがこんな図を見ると効果が上つているように見受けられぬ、困つたものである▼花見とは風流なもので閉じ込められた冬のカラから解放され緑の薫風を全身にあび伝らバツと映いた花のもとで盃を心ゆくまでに満喫する行事である▼それが行過ぎて落花狼藉の振舞をしないと花を見たような気がしないというに至つては病的変態性である▼人間としてハズべきことである、毎年改善されて行くようお互に心すべきだろう。

4月 16 17 18 20 25 26 発走 11時
いわき
場外車券売場 福島市 郡山市 若松市 平市
お値段ばかりは復古調です 藤越 小名浜 平市
飲食店向貸家を求む ▽平市内▽なるべく目貫通りを望む▽委細面談 姓名住社（十六）
會評品造酒城石回四第 優等賞連續受領 吟香に薫る 天宅 山宗酒造店 平市南町 電三一二
假營業所 平市一丁目武田陶器店隣 店舗改築のため當分の間右記に店舗を移轉して營業いたしますから何卒相變らず御引立のほど御願い申上げます 緑屋本店 電話五三九番

立花派の兒童だけを情實で入所さす

磐城市の保育所問題化す

磐城市では保育所の入所児童について市福祉事務所（所長村上保一郎氏）が慣実によつて選考したことが問題となり十日午後二時より民生委員協議会（会長堀越定吉氏）を招集し村上所長をつるし上げる一方古滝保育所長鈴木菊彌氏を証人台に立たせて実情を聞いた、問題となつた点は昨年の実績を見ると九割の国庫補助が五割一分に減らされたため古滝保育所收容児百六十名を今年から九十七名の定員で抑えることになり去る三月二十九日の民生委員会で承認した、その際昨年から引続き保育所にとどまる者の二年組四十六名を十九名に切り更に定員より余計に收容する場合を考慮して補充者十名を委員会で選定しておいた、村上所長はあくまで九十七名より定員を増すことは絶対ない、若し増す場合は補充者の十名を優先的に扱うと云う條件で民生委員を納得させたところが福祉事務所ではこの約束を破りこの程

❶民生委員に相談なしに四十五名を更に追加して古滝保育所に收容した❷その際無條件で優先的に扱うべき補充者十名の中で入所させなかつた者がある❸今度入所させた四十七名中には船主の子弟など明らかに不適格者だと思われるものがあるばかりか当時立花市長代理の系統の者を優先的に扱つて政争の具に供した

などの点が挙げられ更に鈴木古滝保育所長はこれに先立ち前から「定員九十七名より更に追加收容出来る」と放言して民生委員会の決定を無視するような行動をとつたと村上、鈴木両所長をつるし上げたもの

本田民生委員談＝定員が増えて余計收容出来ることになつたことは喜びに耐えないが然し民生委員に相談なく不適格者を收容するのはどうかと思う、街を歩いて見るとまだまだ困つている家庭がありそうした関係のお子さんを收容することが先決だと思う、立花派の者だけ無審査で入所させたのでは不明朗極まると云う外はない、せめて児童福祉事業だけは政争の具に供したくないと思つていたのに残念でたまらない、あの場合民生委員協議会長の堀越さん位にはお話があつて然るべきで然も補充者の十名ですら勝手な人選をしたとあつては横暴だと云わざるを得ない

村上福祉事務所長談＝四日に江名支所から保育所定員を減らされては困ると云う話が出たので急に定員を増すことになつたもので民生委員にお集り願う暇がなく事務に追れていた、今度追加した四十五名の中には約十名の不適格者が含れているがこれは幼児園が満員だと云うことなどの理由によるもので直ぐにでも退所手続をとるようにしたい、補充者十名については処置権は福祉事務所にあるので当方でそう決めただけのことです、鈴木古滝保育所長が定員外でも收容出来ると云つたことは私の関知したところではない

鈴木小名浜幼児園長談＝幼児園が満員でそのために入園をお断りしているようなことは絶対ありません

鈴木古滝保育所長談＝私が立花町政に有利なことを吹聴したかどうかと云うことはとんでもないことだ、私は今度の選考について詳しく知らない、不適格者があるかどうかは私から申上げかねる、民生委員会の席上私が保育所から自宅に帰つて仕舞つたので出席が遅れると福祉事務所で説明したそうだがそんなことはない、そんなウソを云わなければならぬ点が私にとつて不可解だと思つている位だ

石城連青陣容更新

總會で渡邊會長（大浦）を承認

石城部連合青年会定期総会は十一日午前十時から平市第一小学校講堂に会員千三百名が集まつて開き規約を一部改正したほか役員会員四十六名（各町村青年団から各二名）を表彰各町村青年会長始め旧執行部員には感謝状を贈つた、なお四日の部員談会で改選した会長ほか執行部は次の通り

（写真は脈つた昨日の松方岡）

▼会長渡辺弘文（大浦村）▼副会長猪刈徳松（内郷町）鈴木充（草野村）懸一夫（錦町）根本美代子（常磐市）▼総務部長吉田栄（内郷町）▼文化部長上遠野貢衛（磐城市泉）▼産業部長新妻昭男（大野村）▼政経部長永井久雄（内郷町）▼家政部長吉田愛子（小川村）▼組織広報部長馬目新一（磐城市泉）▼体育部長草野秀雄（内郷町）▼事業部長西山昇平（大浦村）▼監事酒井勇（大浦村）白土庄一（好間村）▼会計▼古川充孝（植田町）ほか一名未定（写真は新任の渡辺会長）

水道料金

市が毎月集金

平市の水道料金は四月から毎月徴收することになつた

市水道課では水道料金の徴收について従来、大口需要者を除き二カ月一回納入告知書を発付していたが四月分からは毎月検水器を点検して料金を算定し毎月納入告知書を発付することになつたものでこれは徴收の運営を円滑にするためだと同課では語つている

先ず坊さんが融和

磐城市に佛教會生れる

○…お坊さんばかりで構成した会が磐城市内に誕生した、市制の施行に伴つて旧小名浜町佛教会を発展的解消して新たに旧江名、泉、渡辺のお坊さんも加えて市内二十七寺の住職二十一名が十一日午後一時より定西心光寺に参集して結成総会を開き「磐城市佛教会」として発足することになつたもの

○…「相互の親睦、融和と市内寺院の結束をはかり佛教の本義に基き佛教徒の発展に寄与する」との目的を織り込んだ立派な規約を設定したほか役員を選挙で次の通り決めた

○…これが前身の小名浜町佛教会が行つてきた内吹松地内母子寮に建立した母子観音の供養をはじめ貧困者など救援の托鉢などを多く行つて社会福祉事業の面でも微力ながら貢献してゆきたいとは田口新会長の挨拶（写真は田口会長）▼会長田口顧生（旧小名浜）▼副会長酒主亮道（同）▼幹事永崎晃孝（江名）箱崎晃俊（鹿島）大石興道（泉）日高玄海（玉川）瀬戸真順（岡小名）久野照弘（小名浜）▼会計宗川信誠（

アジア五輪大會へ

あす白鳥選手出發

五月一日からフイリツピンのマニラでひらく第二回アジアオリンピック大会に日本代表として出場する本県出身の水泳ホープ白鳥敏發選手（勿来町出身）は十三日（時間未定）平駅から出発二十八日午前九時羽田から空路マニラへ向う（写真は白鳥選手）

十五頭生む

磐農高のブタ公

磐農高の畜産部では現在ホルスタイン系の乳牛一頭、ヨークシヤ種（英国産系）の牝豚二頭、牡一頭、小羊二頭、緬羊三頭を飼育し相当成果を上げているが、本年度からは産振策として約二十万円の予算でミルクプラントを施設し收益面に拍車をかける事になつているが、とりわけ同校の人気ものそして余つとされているのは磐豚三号の牝のブタ公で八日の朝方産れたばかり十五頭の仔を連み出し畜産主任の山本先生や生徒達は大喜び、此の仔豚は二カ月経ると平均一頭三千円位で羽が生えて飛ぶという、親の三号の体重は六十余貫という晃事な体軀でこれまで毎年十四、五頭宛二回分娩の記録をもつている人気もの（写真は生れて二日目の可愛いブーちゃん達）

料理講習會

十日から開く

ドレスメーカーアカデミー・クッキング・ゼミナールは四月十日から本社二階ホールで開講、長谷川平市教育長の挨拶があり直ちに第一回実習（サンドウイツチ）をした（写真はクッキング・ゼミナール）

縣漁協組

職員會總會

県漁協組職員会総会は十一日小名浜漁協組講堂に約百二十名が参集して開き、漁業振興講演、経理経営講習会などの開催を内容とした本年度漁業計画案をきめたほか、資金アツプ運動を積極的に行うことなどをきめた

阿彌陀堂の池浚い行う

來る十七日

内郷町白水第一部落館では国宝白水の阿彌陀堂池浚いを行うことになつたが同部落民百名が十七日午前八時から勤労

大映イーストマンカラー総天然色
金色夜叉
同映上映 鼠小僧色ざんげ 月夜桜
山根寿子 船越英二 本郷功次 上原謙 伏見扶佐子 水戸光子
14日より上映
特別奉仕料金100圓
世界館

塗料専門
タイヤ塗料商会
平市南町67 TEL平1351

各眼鏡專門　眼科医指定
平指定商チケツトご利用下さい
玉屋
平市二丁目電910

牛と豚肉とハムとソーセージ
藤越
平・電1282

日本製鋼所の技術です！
PINE パインミシン
飯塚ミシン商會　植田町本町電268

夢をロマンを織りなす恋の酒場
平市の代表的姉妹店
裏銀座 れんぼ
お照ちゃん 俳優若 れんが。

アナタの体温計は正確ですか
當店は毎月十五日体温計の無料検査を致して居ります
どうぞお気軽にお持ち下さい
皆様の 関内薬局 電40番

植田隨一の割烹食堂
自慢の江戸前壽し
魚庄大衆食堂
植田町本町 電話二〇八番

産婦人科
中田医院
平市材木町乗楽館跡
電話一〇九七番

家具のことならたんの家具店へ
御婚礼と新家庭を持たれる時の家具の一切の御相談には是非たんのへ御相談下さい必ず御期待に添う様に致します
丹野家具店
植田町 電二〇一・二五七

"山神祭"の行事決る

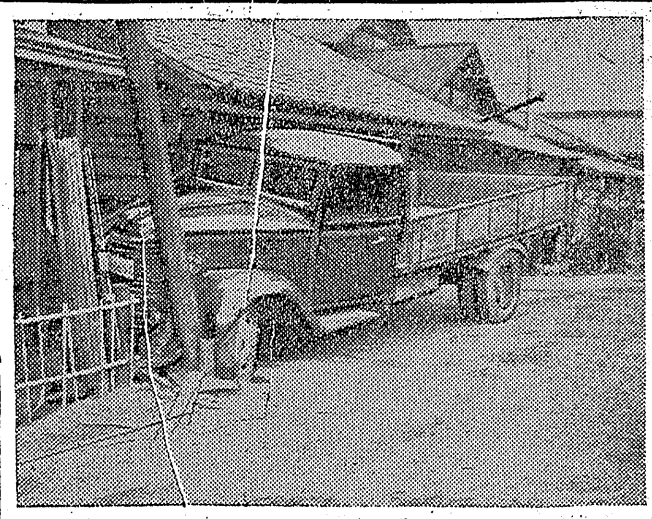
歴巻はノンプロ選抜野球

常磐炭鉱山神祭は十四、十五、十六の三日間盛大に行われる
十四日は各鉱の山神社で朝八時から祭典修祓式、朝九時からは御興渡御を行う、早朝から打揚花火で山神祭を祝福し十五日も行う、この日各鉱山神社廻りの駅傳競走が午前中に行われる
盛沢山のプロによる演芸大会は十五、十六の両日東京一流の芸能人らを招き自治会館、記念館、磐崎会館、平発電所川平会館で催されるこのほかノンプロ選抜の野球大会が次の日程で行われるほか各鉱で境内演芸、移動演芸、神楽、相撲、弓道など厳やかな催しが行われる
▼十五日午前九時(金坂球場)
常磐対全藤倉(九時三十分)釜石製鉄対東京ガス(十二時二十分)
▼十六日(浅貝球場)
全藤倉対東京ガス(九時二十分)
常磐対釜石製鉄(十二時二十分)
常磐対東京ガス(三時二十分)常磐対釜石の試合はラジオ福島によって実況放送される

トラックが飛び込む

お内儀さん重傷、家屋破壊

十一日午後四時半ごろ好間村上好間字稲荷下一三地内国道で同字磯市郎売炭業広木和夫さん所有の トラック=運転手無職村大利字成沢六郎口長治さん(三七)=がハンドルを切りそこね路傍の畳職高塩照一さん方にとび込み照一さんの妻キミさん(四四)をはねとばし胸部、腰部打撲全治一カ月の重傷を負わせ窓ガラス三枚をこわし家屋の柱と 一本を倒して停車、およそ三千円の損害を与え車体を小破した 郎口運転手が花見酒に酔つて運転したもの(写真はとび込んだトラック)



軟庭ク總會

十八日開く

平市軟庭クラブ総会は来る十八日午後五時から平市田町大坪氏宅で行われ役員改選、本年度行事につき協談、また九月二十三日松山市に開催する第八回マ元帥記念杯大会に平市が推せんされているので代表選手を選考につき協議する

トレラーに衝突企つ

虎になつた運轉手捕わる

常磐交通平一小名浜間トレラーバス=運転手小野孝さん(三七)=に衝突を試みたが寸前でバスが止まり難をまぬかれたが、それが面白くないと酒の勢いでバスの運転手小野さんを満路におろし懲元を摑んで因縁をつけているところを内郷地区署員に逮捕、身柄は同署に留置された、このため同バスは十五分遅れた

時の話題

池田海上保安部長 野澤本社長が對談

十四日午前七時十五分から十五分間、NHK朝のローカル放送で小名浜海上保安部長池田清氏と本社長野沢武蔵氏がタ時の話題タを対談放送することになつた
聞き手が野沢本社長で話し手が海上保安部長であるから、対談の内容は海の話題が中心となるらしく、保安庁の海上保安部と兵隊訓練をする保安隊との相違点、今や世界の話題をさらつているマーシャル群島ビキニ地帯の水爆実験と本県遠洋漁船の関係近年著しく激増した漁船の遭難事故とこの原因追究などがあげられ漁船の遭難予防や海上取締りに相当突き込んだ話題を生むものと興味をあつめてい る(写真池田部長―左―と野沢本社長)

新潟縣で破藏

錦町の自宅で逮捕

錦町字中子生れの無職古川健一(三七)は四月九日新潟県古志郡の今井勇平(三七)と共謀し古志郡東谷村大字大川目黒四右衛門さん方の土蔵を破つて箪笥から衣類五十六点(時価八万一千円)を盗んで錦町の自宅に舞い戻つて来たところを十日植田地区署に捕まり十一日身柄は新尾警察署に護送された

職場野球

あす役員會

小名浜職場野球連盟では役員会を十三日午後七時より磐城市公民館にひらき春期野球大会開催につき打合せる

留守宅荒す

二人組を逮捕

磐城市小屋内漁業三代襲勝さん方漁夫中間繁三(三)同少年M(一七)の両名は去る十日午前九時ごろ同市古港会社員舟野民部さんの留守宅に忍び入り礼服一揃衣類十点合計七万五千円相当を盗み同日内郷町内に盗品売りにきたところを内郷地区署員に逮捕され十二日身柄送検

妻子を捨て亭主が家出

妻から捜査願

磐城市字下手二七渡辺ノブ子さん(四)は十一日夫の日雇五郎さん(三七)の捜索方を小名浜地区署に願出た、五郎さんは去る三日十八日朝仕事をみつけに行くといつて家を出たまゝ行方不明となつているという、子供四人がある

四倉の小火

十一日午前八時半ごろ四倉町田戸六七農業佐藤清三郎さん(七〇)方裏間の炉端から出火、屋根から煙をふいているのを附近居た同字農業佐藤辰之助さん(六〇)が見つけバケツで消火、炉端一坪を焼いただけで消し止めた、損害およそ千円、清三郎さん方で火をたいたまゝ留守にしていたもの

公園前のテレビ失敗

新物注文中

十一日夕六時ごろ平市松カ岡公園元安藤公銅像前で行つたテレビの試験受像はハツキリ受像出来ず失敗だつた
目下、東京の業者に新アンテナを注文中でこの日使用したのは後来、鈴木ラジオ商会で使用し ていたもの、なお連日午後一時と六時から一時間ほど受像を行うが、その日のプロによつて受像時間も変更される

古河炭鑛の山神祭

十六日から

古河好間炭鉱の山神祭は十六、十七、十八の三日間行われる

全炭鑛か

常炭連と日鑛のハダカ合同

常炭連と日鉱とのハダカ合同はいよいよ二十一日東京で開かれる日鉱と常炭連の合同大会で決定されるが、この大会で一切の合同に関する手続きがとられる、名称は全国石炭鉱業労働組合(仮称全炭鉱)となる予定

統一メーデー

施行に決る

十九日實行委

第二十三回メーデーの実施方法について十日平市労働会館に炭労、常日鉱、常炭連、国鉄、呉羽化学日本水素など平地区の各労組代表が集まつて打合せた結果、今度のメーデーは統一メーデーとして実施する、主催は平地区共斗会議とせず平地区管内の各労組の主催とすることに決定、スローガン、行進コース、議長團の選出など具体的な件については各主要労組からなる実行委員会で協議することになつた
第一回実行委員は十九日午後一時から平市労働会館に開く

貸事務室

平市内本通り
新築建物の二
階十二坪半
◉…御希望の方はいわき民報社へ御照会願います
姓名在社(十五)

コツク見習急募

年令二十才前後―住込み
◉…希望の方は直接来訪されたし
レストラン ブラジル
平市並木通り(電九九〇)

祝 炭礦山神祭 協賛大賣出し

☆年に一度炭礦の皆様に感謝を以て御贈りする山神祭大奉仕!!☆
生地メリヤス洋品・既製品・呉服・雑貨に特別値段を發表させて戴きます
御期待の上毎日 湯本店・金坂店へ御來店下さいませ

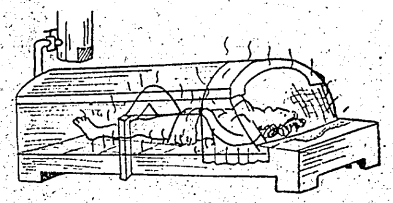
☆特別御買徳品發表!☆
皆様の利益を護る店
大黒屋 湯本店 金坂店

奉仕は利潤に先行す
全店集中飛躍合理化大奉仕
奉仕動機による経営

開店披露

このたび皆様方の御協力と御声援によりまして四月八日から開業いたしましたいまた設備その他の点未完成のところもありますが本館独特のトルコ式むし風呂を設備いたしましたから是非一度御来館の上御入浴のほど御待ち申上げます

◇トルコ式むし風呂は…★健康上には=血液の循環を旺盛にし身体の疲労を退散させ若返り法百%
★美容には=特種鉱泉を使用のため男女の皮膚細胞組織を若返らせ美肌となります



トルコ式むし風呂
みやま旅館
平市堂前 電1733

◆募集◆
女中さん
年令二十四才以上三十五才までの身体健康の方委細面談御希望の方は至急御来所願います
平市三丁目大通り電四四七
旅館 高砂

江戸前壽司 きそば
和洋食 各種
アサヒビール
昨年同様始めました
平市四丁目本局ウラ通り電七二三
ナヅミ
平指定商の店 大衆食堂 なじみ

整形外科 外科
内科 レントゲン科
理學診療科
竹林病院
入院随時
【看護婦募集】
院長 竹林貞吉
医員 中川増郎
安斎慈次郎
平市十五丁目大通り 電八一一・六〇八番

神戸生
特約店
伊勢甚坂牛
平市銀座通電二七一

日刊（除月曜）定価一部5円 1カ月分100円 郵送12.6 （第三種郵便物認可） いわき民報 夕刊 昭和29年4月13日（火曜日） 第2422号（4）

磐女高鎌西旅行便り ❷

第三日（四月七日）

いよいよ待望の古の都奈良の見学である、朝八時半旅館を出発、バスで法隆寺へ向う

車窓に展開する広大な大和平野は今は色とりどりの美しい田園と化しているが、そのあちらこちらにその昔大宮人が栄華を極めたであろう寺院や旧蹟を忍ぶ事が出来る約三十分で法隆寺につく、我国文化の源泉地である斑鳩の里は山なみの緑滴の中に今なお創建当時の奇い面影をとどめ飛鳥のふん囲気が身近に感じられる、次いで春日神社、興福寺、東大寺、奈良の大仏など多くの名所を見学、花見のシーズンであり天気もよいので何処も行楽の客で相当なにぎわいである

猿沢池を最後として六時間余の奈良市内見学を終え十五時残る目的地京都へ向う、十七時四十六分京都駅着たちにバスで明るいネオンに輝く京の町を一路旅館へ、長い旅の疲れをいやし明日の見学を楽しくするため外出をやめ十分の休息をとる

第四日（四月八日）

京都旅館を八時出発、京都の町を徒歩で三條駅に向い直行の石山寺見学、小学校の部では臨時列車十本で東京日帰り旅行となっている

臨時列車が十五本

修學旅行戰後最高

荷役取扱量 正月中の

東北海運局小名浜支局では三月中の小名浜港での汽船（八百トン以上）による荷役取扱量は五隻（船舶合計トン数六千二百二十五トン）で五千七百六十トン二月より一千百四十四トンの減だと九日公表した、なお場積荷別は次の通り

▼場荷四千百三十五トン（コークス二千八百八十トン、石炭一千二百五十五トン）▼積荷一千六百二十五トン（ドロマイト）

畜犬の登錄

平市が予防注射施行

平市では狂犬病予防法により生後九十一日以上の犬は毎年一回登録を受けなければならないので二十九年度の登録を左記により実施する、関係者は市衛生課（飯野、神谷支所）に届出て手続きするよう望んでいる

▼前年度登録した犬の登録換 七日―二十日

▼新たに登録する犬 七日以降

▼登録料 三百円

なお平市の二十九年度第一回狂犬病予防注射も次の日程で行う、登録を受けた犬は無料、当日登録を受付ける、犬を連れてくる者は犬がつちりつかまえていることが出来る飼主のこと

▼二十二、二十三日（公会堂）旧市内▼二十四日（飯野支所）飯野地区▼二十六日（六小）神谷地区▼二十七日（四小）平窪地区（毎日午前九時より午後三時まで）

狂犬病注射 磐城市の日程

磐城市では第一回狂犬病予防注射を次の日程で実施する

▼二十五日午前九時―正午渡辺支所▼二十五日午後一時―三時上釜戸▼二十六日九時―正午泉支所▼二十六日一時―三時下川巡査駐在所脇▼二十七日九時―二時鹿島支所▼二十八日九時―三時玉川支所▼三十日九時―三時小名浜鹿島神社前▼五月一日九時―三時市役所広場▼四日九時―正午江名支所▼四日一時―三時永崎

電氣サービス向上座談會 十六日に開く

電気サービス向上座談会は十六日午前十時から東北電力平営業所会議室にひらき各電業所、販売所員らの討論が行われる

第五日（四月九日）

美しいナイチンゲールの様なバスガイドさんの説明によつて二十三間堂をふり出しに清水寺、平安神宮、銀閣寺、二條城、嵐山、平等院そして東本願寺等を古都の面影をしのびつゝ見学、平重盛ゆかりの美しさが感じられる、月見堂から創建と傳えられ現存するものは建長二年のもので、実際の長さは六十五間以上ある三十三間堂、さながら山の龍宮を思わせる清水寺、明治二十八年（一八九五）平安奠都一千百年祭の祝典に際し桓武天皇を祭神として作られた平安神宮、巍満の金閣に倣い足利八代将軍義政が別荘を営んだ銀閣寺、そして平等院、お寺の多い説明に少しつかれた頭を嵐山で昼食をとりながら休め、正後から又御所、平等院東本願寺にお参りして十七時三十分に京都駅につく十九時八分発で東京に向う

一億六千萬圓

昨年の勞災保險支拂高

平労基署の二十八年度労災保険金支払状況が八日までまとまつた、支払総額は一万七千十六件、一億六千二十一万七千三百八十四円で、内訳は障害補償費の五百八十二件、四千九百九十四万五千五百十九円がトップを占め、次いで休業補償費の四千三百二十五万九千二百三十四件、二千七百四十八万六千百八十一円、葬祭料の八十二件、二百二十三万七千三百四十四円といつた順で支払総額は二十七年にくらべて七百七十七件、二千六百三十万二千四百十四件、遺族補償費の八十二件、三千七百二十八万千百六円、療養補償費の八千七百七十三